

祖師谷保育園だより

世田谷区上祖師谷3-20-17
社会福祉法人 雲柱社
祖師谷保育園
TEL.03-3326-1131

2021年度1月号
2022年1月5日発行



「賀川豊彦と雲柱社と保育」

法人理事長より

法人の保育事業は、今からおよそ99年前に起こった関東大震災時の救援活動が原点であります。法人の創立者賀川豊彦は、震災によって多大な被害を被った人々の重荷を共に負うべく、救援活動に取り組みました。その中で真っ先に取り組んだのが保育活動でした。

その後、時代の変化により、保育は社会の責任として受け止められることとなり、制度や内容も向上してきました。現在の保育は、子どもを人格として捉え、その成長を社会全体で支援していく、すなわち子育ての社会化に繋がっていくものであります。

創立者が保育に取り組んだのは、ひとりの人間として、子どもの尊厳と成長が守られる環境を備えることにありました。それは、神より命を貸与された子どもが、その命を十分に生きるための場として、保育所が必要であるということです。雲柱社は保育所で受け入れる子どもたちが、それぞれの年齢の時を、良い人的、かつ物的な環境の中で保育を受けることが大切であると考えています。これは、創立者が子どもの人格を中心に据えて保育に関わった時から変わることのない考え方でありました。

「相愛互助社会を目指して」

当法人は、この創立者の思想と実践を基本にして、その後、障がい児・者の支援、子育て支援、放課後児童支援などの事業に取り組んできました。

そして現在、人間の多様性の尊重が社会の主流となってきました。

一方、この考えの拡大は自己責任と格差を生み出すことにもなりました。次代を担う子どもたちに、私たちはどのようなバトンを手渡せばよいのでしょうか、、、。

それは競争社会に打ち勝つ力でしょうか…人よりも抜kindでた学歴でしょうか…安心できる財産の蓄積でしょうか、、、いずれも人生を生きていく上であると良いものには違いありません。しかし、私たち雲柱社が保育を通して、子どもたちに伝えたいことは隣人と共に助けあって生きる社会を創っていくことです。その力を身につけて行ってほしいということです。そのためには、保護者も私たちも、子どもたちをひとりの人格として受け入れ、人生を生きていくパートナーとして、歩みを共にしていきたいと考えます。

新しい年も、法人が取り組む保育に理解と共感と支持をよろしくお願いいたします。



理事長 服部 榮

1月の聖句

「主は人の一步一步を定め 御旨にかなう道を備えてくださる。」詩編37篇23節

新しい年を迎えました。今年の抱負は定まりましたか？何か新しいことを始められる方は、楽しみや期待感と共に一抹の不安が入り混じることがあるかもしれません。あるいは、具体的に何も決まっていなくてどうすればいいのかわからない場合もあることと思います。そのような時、神さまと自分だけの時間を大切にしていだければと思います。自分の心を見つめ、神さまに「御心にかなう道を歩ませてください」と祈りつつ歩むなら、主がその一步一步を導いてくださり、その歩みは祝福されたものとなるでしょう。

祖師谷教会牧師 小河由美子



ほけんだより 1月



あけましておめでとうございます。2022年も元気な子ども達の成長を願っての年明けです。12月中旬は世田谷区内でも、当園でも乳児を中心に嘔吐下痢症が多くみられました。下に嘔吐時のケアや消毒方法についてのせましたので参考になさってみてください。100倍に薄めた次亜塩素酸ナトリウムは新型コロナウイルスの環境消毒にも推奨されています。(水拭き要)

また12月27日に世田谷区から配布された「家庭内感染対策を目的とした抗原検査キット」を配布しています。お子さんひとりに対し2セットです。心配な症状が見られた時、使っていただくことになりますが、症状ある時は、結果が陽性でも陰性でも受診は必要ようです。

子どもが吐いたら……

ここを確認!

- ☐ おなかを痛がったり、下痢をしていないか?
- ☐ 食べすぎや飲みすぎはなかったか?
- ☐ 吐く前に食べたものは何だったか?
- ☐ 吐く前に頭やおなかを打っていないか?
- ☐ 熱はないか?

吐いた後ぐったりしている、機嫌が悪いなど、様子によっては急いで受診しましょう!

何度も吐き続けるときは……

- 食べ物や飲み物を与えず、安静にする
- 吐いたものが気管に入らないように、上体を起こすが、顔を横に向けて寝かせる

吐き気が治まったら……

- さゆや麦茶、野菜スープなどを、ひと口ずつゆっくり飲ませる

知っておこう

おう吐物の処理

冬場に流行するウイルス性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスなどによって感染します。家庭でも二次感染予防のために、おう吐物の処理にご留意ください。

- 窓を開けて使い捨ての手袋とマスクを着け、使い捨ての布などでおう吐物を周辺からふき取る。
- 次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)を薄めた消毒液で、おう吐物のあった部分を再度ふく。汚れた物はすべてポリ袋に入れ、それらは、消毒液をかけてから密封して捨てる。
- おう吐物の付いた服は、85℃以上の熱湯に1分間つけてから洗濯する。
- さらに乾燥機にかけたり、アイロンをかけたりすると、熱に弱いノロウイルスは死滅しやすい。

次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方

水 + 市販の塩素系漂白剤

ペットボトル 500ml分 + ペットボトルキャップ 1杯(約5cc)

※100倍に薄めた塩素系漂白剤

水をペットボトル 500mlに市販の塩素系漂白剤(ハイター等)をペットボトルキャップ1杯(5cc)入れたものが100倍に当たります。間違えて飲まないように気を付けてください。使用したら作置きはせず、すぐに捨ててください。

食事だより

社会福祉法人雲柱社 祖師谷保育園 調理室 1月号



新年、あけましておめでとうございます。

昨年は、オリンピックに因んで日本の料理、世界の料理を献立の中たくさん取り入れました。また、ゆき組と一緒に SGDｓ に取り組んできました。ご家庭でも一緒に献立を考えていただき、色んな意見を聞かせていただきました。ご協力ありがとうございました！！ゆき組さんが一生懸命に考えてくれた成果もあり、苦手な野菜や魚食べられるようになり、子ども達も自信がついてきたようです。そんな姿を近くで見ていると嬉しく思うと同時に一生懸命給食を作ろうと思わせてくれる子どもたちに感謝しています。今年も子供たちの成長により一層貢献できるよう、安全で美味しく子どもたちが 笑顔になれる給食を作っていきます。



ささやかながら調理室から子どもへのプレゼントをしました。アドベンド期間に飾っていたお菓子の家ですが、クリスマスを終えたので片付けさせて頂きました。また来年はどんな姿になって現れるかな～楽しみに待っていて下さいね。



※1月献立紹介※

さつま汁（鹿児島）・・・鶏肉を使った具沢山の味噌汁です。

豚鍋汁（山梨県）・・・野菜やきのこをたっぷり煮込んだ鍋料理。山梨では猪を使っているそうです。

どろめ汁（高知県）・・・土佐の郷土料理、高知ではしらすの事をどろめと呼ぶそうです。

呉汁（宮城県）・・・大豆を水に浸し、すりつぶしたペーストを味噌汁に入れたものです。

芋だんご汁（北海道）・・・じゃがいもで団子を作り、具沢山の味噌汁に入れてものです。

どんがら汁（山形県）・・・たらを使用した山形の郷土料理です。

だぶ汁（福岡県）・・・煮崩れしやすい食材は使わず根菜類を使い“だぶだぶ”作るそうです。

のっぺい汁（新潟県）・・・季節の食材を鍋で煮込む汁物です。

寒さが増えてきましたが、配慮食や食事提供についてもう一度確認をお願い致します。

《食事提供について》

登園の基本は9：30までとなっていますが、病院の受診などでやむをえず登園が遅れる場合、衛生面や子どものリズムを鑑みて、給食提供時間について以下の通りとなります。**下記の時間を過ぎる場合は、食事を済ませてから登園して下さいお願い致します。**

0 歳児クラス⇒11：30

1,2 歳児クラス⇒12：00

幼児クラス⇒12：30

*給食は、安全のため調理室にて冷蔵保管し、再加熱して提供

を行います。そのため、登園が遅れる旨の連絡は各最終時間の

1 時間以上前に園までお願いします。

《配慮食について》

クラス用	名前 _____
	配慮食希望 (お昼：おかゆ＋汁物、おやつ：おじゃ) 当カードを申請される場合、 <u>延長保育の受付はできません。</u>
調理用	クラス _____ 名前 _____
月 _____ 日 _____	配慮食希望 (お昼：おかゆ＋汁物、おやつ：おじゃ)

基本は通常のお食事が食べられるようになってからの登園をお願いしていますが、回復期等で食事の配慮が必要な場合、「**配慮食カード**」を申請することで、配慮食の提供を致します。

昼食：おかゆとスープまたは味噌汁 おやつ：おじゃ

1F 玄関の与薬カードが入っている BOX に用紙が入っています。0,1 歳児クラスはお部屋にも用意があるので職員に声をかけて下さい。 名前とクラスを記入し、保育士に渡してください。

2022年1月号

おひさまひろば だより



あけましておめでとうございます。2022年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年秋以降感染症が落ち着いてきたこと、わたしたちが感染対策を考える日々に慣れたこともあり、少しずつ窮屈さが減り日常の足音が近づいてきたように感じます。

さて、年が変わるにあたりひろばの仕事って何だろう？と考え、ひろばという居場所の「環境づくり」と、この地域が子育てをしやすい街になるような「地域づくり」であると思いました。ひろば内の「環境づくり」はもとより、ひろばの外にも出かけ地域で顔の見える関係を作り、地域の皆が子どもたちに暖かい眼差しを向ける街になるような「地域づくり」を意識したいと思います。

12月には近隣ひろばの「ぶらんこ粕谷」さんと一緒に祖師谷公園でお外遊びの合同企画を行いました。当日は快晴で、12月とは思えないぽかぽか小春日和のなか、両方のひろばの方々が13組集まってくれ、楽しい時間を過ごしました。

今年もどうぞよろしくお願いいたします！



車をひいて
もらったよ



お友達と
たからもの
探し中

スタンプコーナー
で落ち葉バッグを
つくったよ

最後はみんな
でおべんとうばすを
読んでさようなら

